

第 35 回 JOMF 特別企画セミナーを大阪で開催

2019 年 2 月 22 日(金)、大阪商工会議所において、特別企画セミナーが開催されました。ゲストスピーカーとして東京医科大学病院渡航者医療センター 教授 濱田篤郎先生をお招きし、「最近の海外感染症事情－インバウンドも含めて」について講演いただきました。講演に先立ち、10 月に開催した海外医療情報交換会の報告として、拠点報告(マニラ、シンガポール、シンガポール心療内科)について、当日の様子のスライド紹介も含めて事務局より報告いたしました。

【来場者】

総数 20 名が参加。うち、医療職の方が 13 名、企業人事総務・海外部門等の方は 7 名。

【ゲストスピーチ】

「最近の海外感染症事情－インバウンドも含めて」

東京医科大学病院渡航者医療センター 教授 濱田篤郎先生

1) 海外でリスクのある感染症、2) 最近話題の国際感染症、3) 訪日外国人の感染症 についてお話いただきました。

狂犬病・破傷風の予防接種の打ち方について、講演で話題となった腸チフスについて、予防接種の有効期間の変化について等、複数の産業医の方より質問がありました。

また、エボラ熱や MERS コロナウイルスに関連して、アフリカでコウモリを食した経験のある方より、「感染する食べ方」という視点の質問もありました。コウモリが媒介する疾患はいろいろあるので食べない方がよいだろうということ、コウモリ自体がそれらの疾患に対して大丈夫である点については研究中だそうです。



講演後は懇親会を開催、参加者と講師との有意義な交流の機会となりました。

濱田先生、ご参加の皆様、ありがとうございました。